

〔古今和歌集〕春雪の降けるをよめる

霞たちこのめも春の雪ふれば花なき里も花ぞちりける

〔會禰好忠集〕中の春二月のはじめ略歌

〔古今和歌集〕春亭子院歌合にはるのはてのうた略歌

〔後撰和歌集〕春だいゑらす

おしめども春のかぎりのけふの又夕暮にさへなりにけるかな

〔倭名類聚抄〕歳時夏三月 夏 四月首夏 五月仲夏 六月季夏

〔類聚名義抄〕又夏音下

〔伊呂波字類抄〕天象夏ナツ

〔八雲御抄〕時節夏 かはそひく夏の名 かげろふ俊賴抄

〔和爾雅〕歳時夏釋名云夏假也寛九夏 朱夏 炎夏 九暑 朱明郭璞云氣 升明 長羸農

節 纒夏 槐夏 瓜時 盛夏 炎節 朱炎 朱律以上凡夏之異名

〔釋名〕天夏假也寛假萬物使生長也

〔倭訓栞〕前編十九なつ 夏をいふ熱の義也とも成の義也ともいへり一説に成立の義稻により

ての名也

〔古今要覽稿〕時令夏 夏は熱也なつといふはあつといふ語の轉せしなり春ののち炎熱の時を

いふなるべしと雅東いへり皇國にてふるく夏といふ事義のみえしは夏高津日神と古事記みえた

り此夏字則あつき義にとれるなるべし高津日は高き日也津は助字なり邪曷が爾雅の疏には

日といふに夏高津されば夏の日ながくして空にいつまでも日影とまりてかたぶきがたけれ

ば空に日高きといふ義にとりて神の御名にかうぶらせ奉りしなり夏冬の二時は氣によりて

きのつらゆき

よみ人ゑらす